

関経連は、東日本大震災からの復旧・復興を全力で応援します。

# 関西経済レポート

関西の各種指標をみると、円高や海外経済減速の影響が継続している。  
生産は、弱めの動きが続いており、設備投資にもやや弱めの動きがみられる。雇用は、緩やかな改善傾向にあり、個人消費は緩やかに持ち直している。  
先行きについては、電力供給への不安、海外経済の動向や円高の影響等に注視が必要である。



2012年3月21日

関経連経済調査部

※本レポート中の「近畿」「関西」の範囲は滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県。

ただし鉱工業生産、大口電力需要、大型小売店販売額、コンビニエンスストア販売額については、福井県を含む2府5県。

～目次～

生産・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

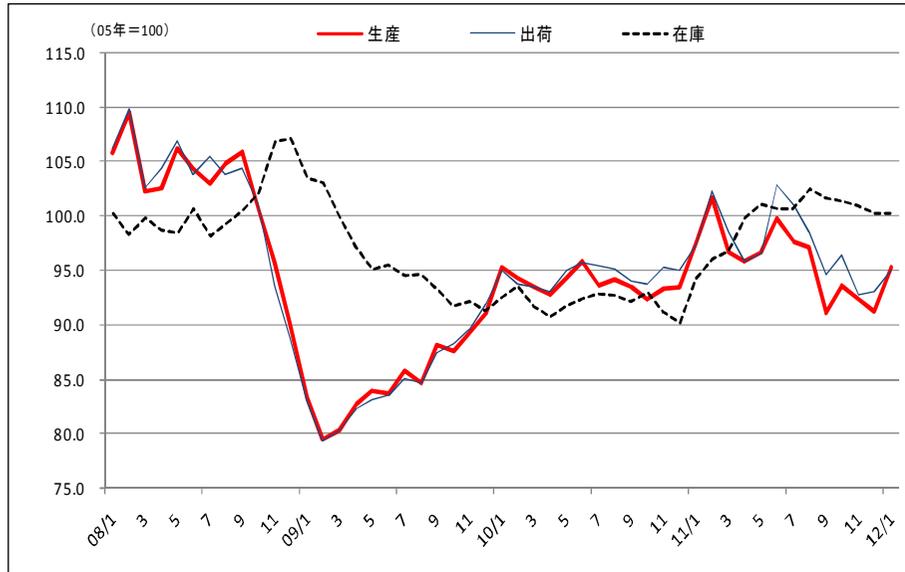
輸出入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

個人消費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

雇用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

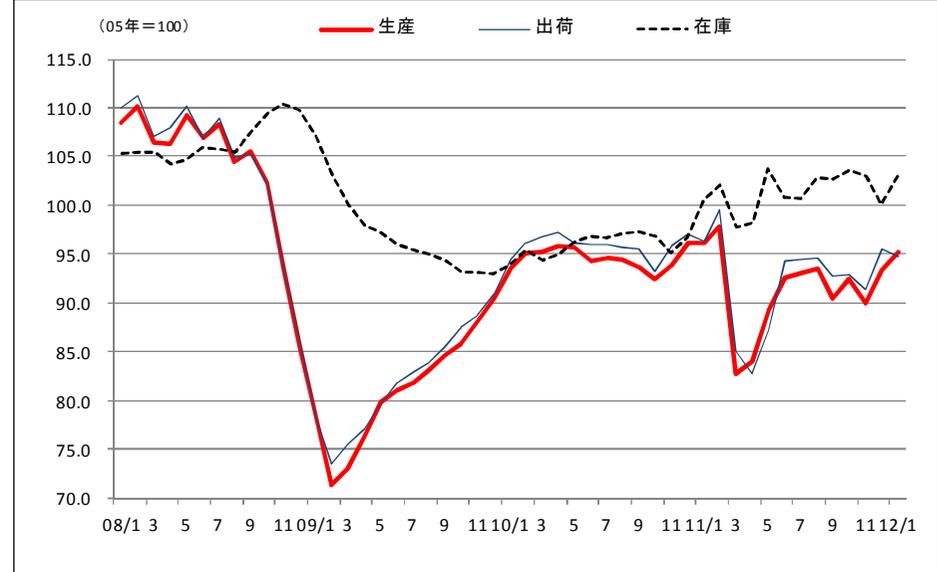
# ～生産～

鉱工業指数の推移（近畿 2012年1月速報まで）



(出所) 近畿経済産業局

鉱工業指数の推移（全国 2012年1月確報まで）



(出所) 経済産業省

業種別鉱工業  
生産指数  
(前月比、%)

\* 網掛は、生産が  
前月比プラスの業種

	全体	鉄鋼	金属製品	一般機械	電気機械	情報通信 機械	電子部品 デバイス	輸送機械	化学	食料品 たばこ
近畿11月	▲ 1.4	2.2	5.5	▲ 8.8	0.3	▲ 19.2	3.7	▲ 4.6	▲ 1.1	▲ 0.7
近畿12月	▲ 1.0	1.9	▲ 10.2	▲ 0.9	▲ 4.1	19.2	▲ 3.8	9.7	▲ 4.5	0.0
近畿1月	4.4	4.1	4.5	10.6	▲ 1.7	12.3	▲ 6.0	▲ 0.2	6.1	1.2
全国1月	1.9	5.9	5.2	▲ 0.5	1.4	11.3	▲ 1.2	3.2	2.5	0.4

・ 近畿の1月（速報）の鉱工業生産指数は、95.2。前月比+4.4%と3カ月ぶりの上昇。総じて見れば、生産は横ばい。

出荷は前月比+2.2%の95.0と、2カ月連続の上昇。在庫は、前月比±0.0%の100.1と横ばい。

業種別にみると、一般機械工業、化学工業(除.医薬品)、情報通信機械工業などが上昇に寄与。

品目別にみると、半導体製造装置、一般用蒸気タービン、フェノール、カーナビゲーションの生産が上昇。

・ 全国の1月（確報）の鉱工業生産指数は、95.2。前月比+1.9%と2カ月の上昇。総じて見れば、生産は持ち直しの動き。

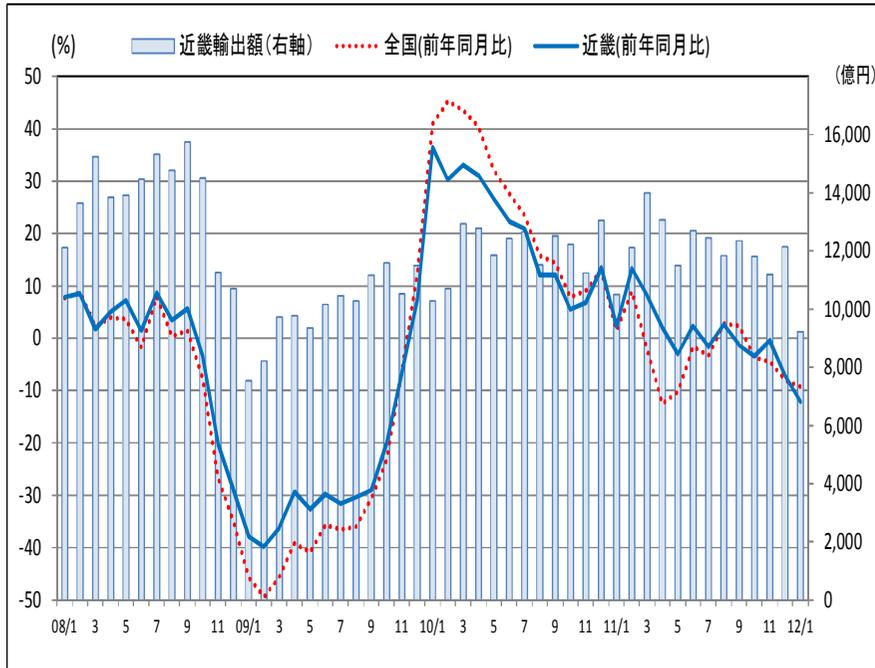
出荷は、前月比▲0.9%の94.7と2カ月ぶりの低下。在庫は、前月比+3.0%の103.0と3カ月連続ぶりの上昇。

業種別では、輸送機械工業、情報通信機械工業、電子部品・デバイス工業が上昇に寄与。

製造工業生産予測調査によると、2月、3月とも上昇を予測している。

# ～輸出入～

輸出金額・前年同月比増減率推移（2012年1月まで）

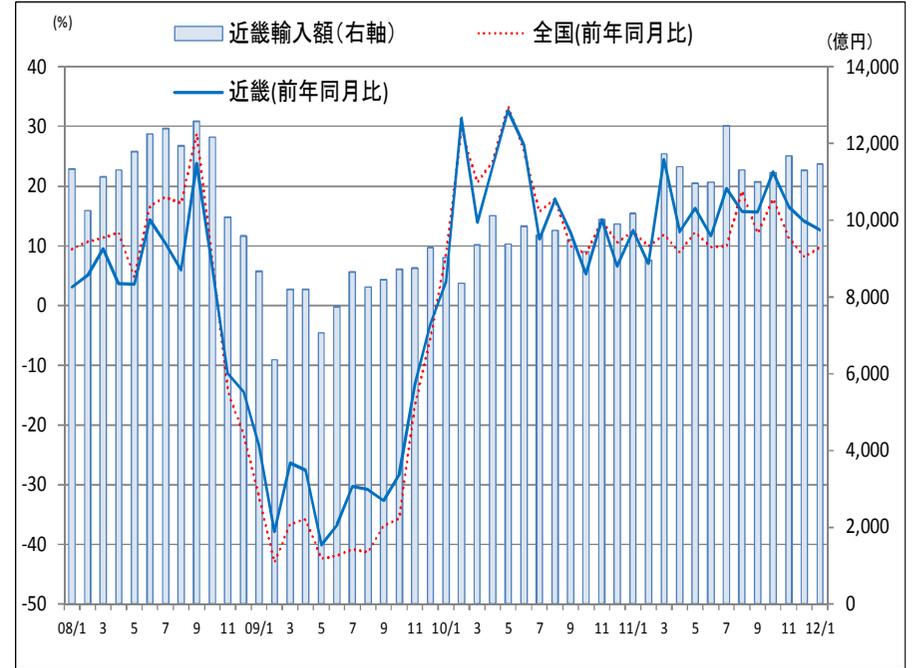


出所：財務省税関(全国)、大阪税関(近畿)

○近畿の月次の輸出動向（2012年1月まで）

- ・ 1月の近畿の輸出額は9,221億円、前年同月比▲12.2%。  
5カ月連続の前年同月比マイナス。
- ・ 地域別では、アジア向けが前年同月比▲13.1%と4カ月連続のマイナス。うち中国向けは同▲17.3%と2カ月連続のマイナス。  
EU向けは同▲15.9%と6カ月連続のマイナス、米国向けは同▲3.3%と2カ月連続のマイナス。
- ・ デジタルカメラ等の映像機器、原動機、半導体等電子部品等が減少。
- ・ 全国の1月の輸出額は4兆5105億円、前年同月比▲9.3%と、4カ月連続のマイナス。

輸入金額・前年同月比増減率推移（2012年1月まで）

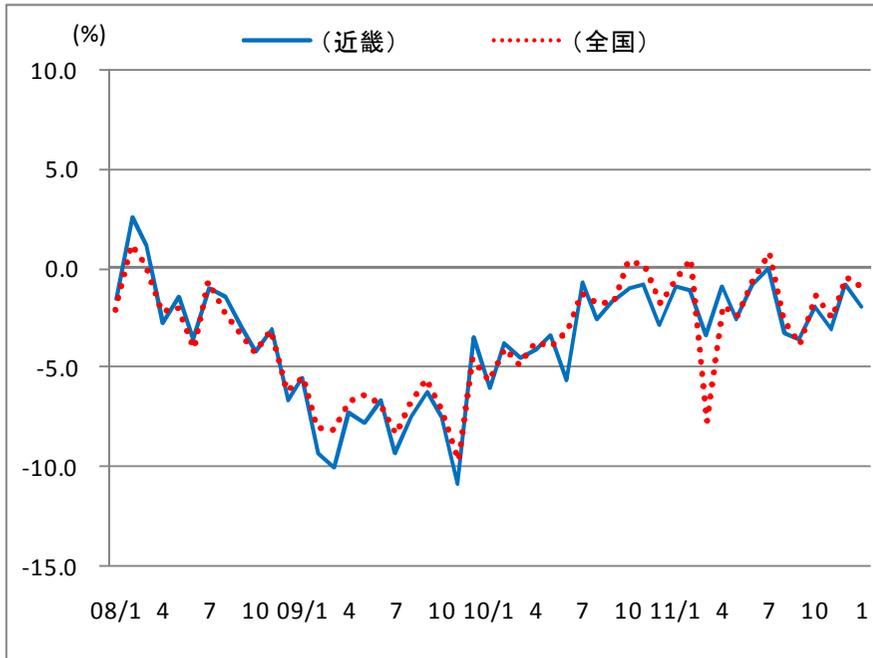


○近畿の月次の輸入動向（2012年1月まで）

- ・ 1月の近畿の輸入額は1兆1,467億円、前年同月比+12.7%と25カ月連続のプラス。
- ・ 天然ガス及び製造ガスの輸入数量・価額が過去最高額。  
通信機、衣類及び同附属品、鉄鋼の輸入額が1月として過去最高
- ・ 地域別では、対アジアが前年同月比+8.3%と25カ月連続のプラス。アジアのうち対中国が同+9.7%。  
対米国が同+0.1%と6カ月連続のプラス。対EUは同+9.2%と11カ月連続のプラス。
- ・ 全国の輸入額は5兆9,852億円、前年同月比+9.8%と25カ月連続のプラス。

# ～個人消費～

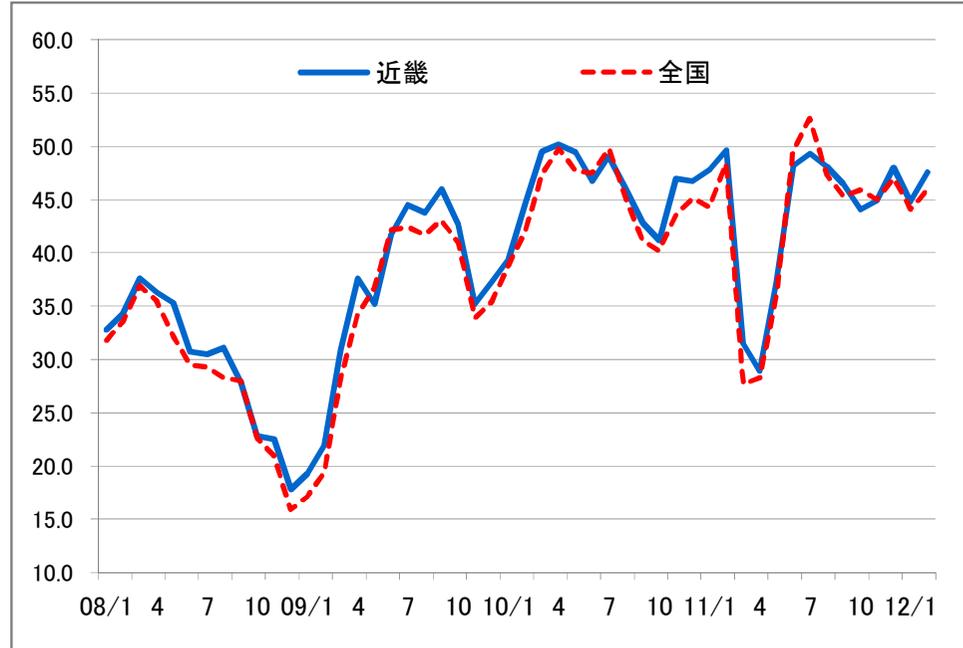
大型小売店販売額（前年同月比・2012年1月まで）



(出所) 近畿経済産業局

- ・ 近畿の1月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(既存店ベース)は、前年同月比▲2.0%と6カ月連続のマイナス。マイナス幅は前月(▲0.9%)より拡大。
- ・ スーパーは同▲2.9%と38カ月連続のマイナス。
- ・ 百貨店は同+0.5%と、2カ月ぶりのプラス。
- ・ 引き続き増床・リニューアル効果がみられ、初売りが好調だった。
- ・ 全国の1月の大型小売店販売額(既存店ベース)は同▲1.0%、6カ月連続のマイナス。

景気ウォッチャー調査(現状判断DI・方向性 2012年2月まで)

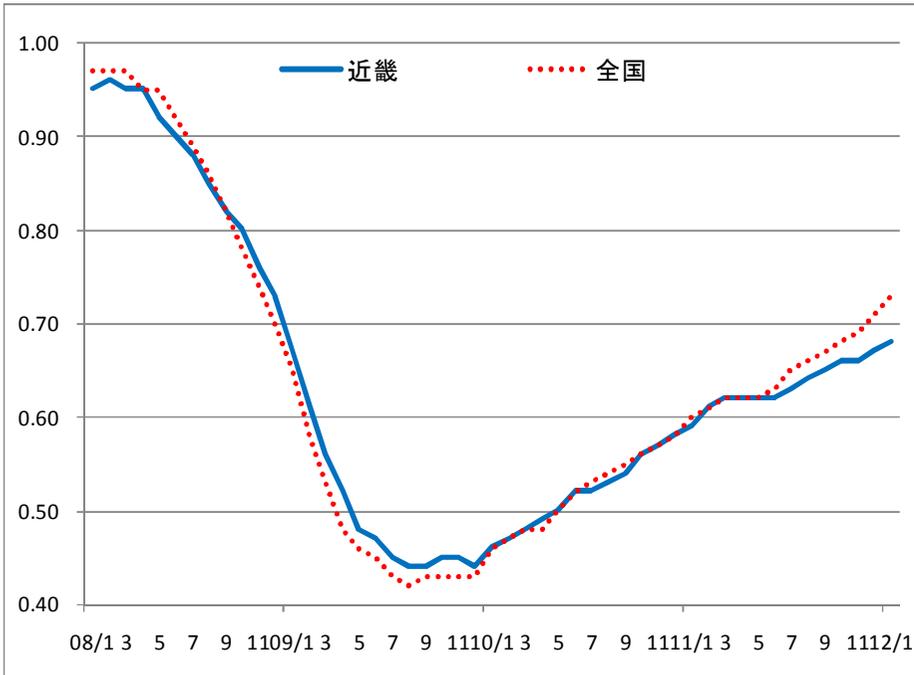


(出所) 内閣府

- ・ 2月の近畿の現状判断DIは前月比+2.8ポイントの47.6と、2カ月ぶりに上昇。厳冬の影響で、春物商材の出足は鈍いが、高額なブランド品などの動きは良い。株価の上昇や新年度の期待感の高まりもあり、上昇した。
- ・ 全国の2月の現状判断DIは前月比+1.8ポイントの45.9と、2カ月ぶりに低下した。
- ・ 近畿の2月の先行き判断DIは前月比+4.0ポイントの51.3と、2カ月連続の上昇。大手メーカーの大幅赤字や国内生産の縮小といったニュースもあるが、消費税率の引上げ前に注文住宅の問合せが増えているといった声があった。
- ・ 全国の先行き判断DIは同+3.0ポイントの50.1。

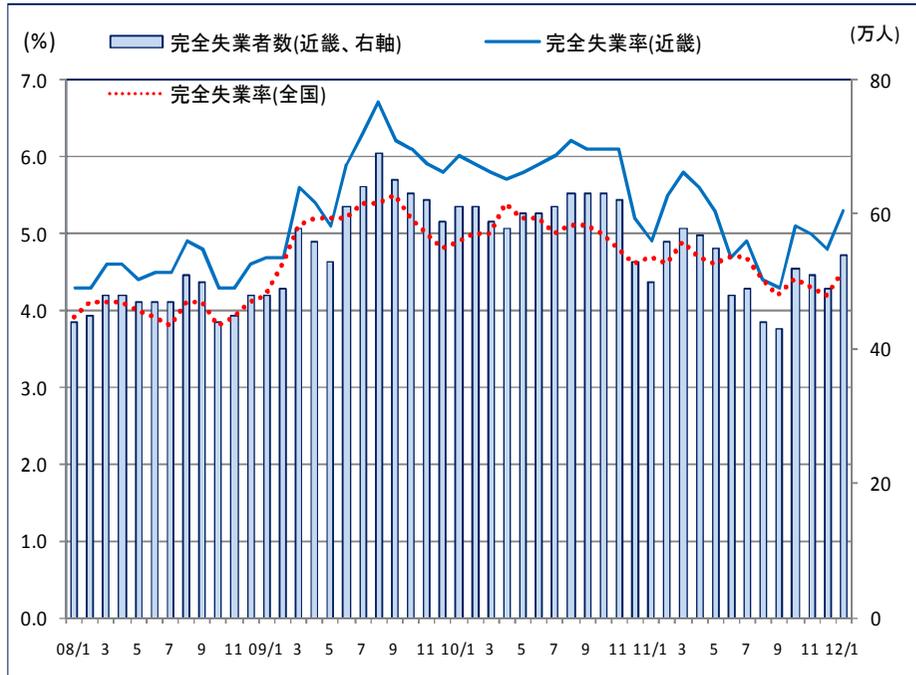
# ～雇用～

有効求人倍率の推移（季節調整値・2012年1月まで）



(出所) 厚生労働省

完全失業率の推移（原数値・2012年1月まで）



(出所) 総務省「労働調査」

地域別有効求人倍率（2012年1月：下段は前月比）

全国	北海道	東北	南関東	北関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州
0.73	0.54	0.72	0.72	0.76	0.89	0.89	0.68	0.89	0.84	0.61
0.02	0.00	0.02	0.04	0.02	0.04	0.03	0.01	0.03	0.02	0.01

・2012年1月の近畿の有効求人倍率は0.68倍、前月比+0.01ポイントと3カ月連続の改善。

- ・全国は0.73倍で、前月比+0.02ポイントの改善。
- ・地域別の前月比では、全地域が上昇。東北は8カ月連続の改善。

- ・1月の近畿の完全失業率（原数値）は5.3%。前月比+0.5ポイントの上昇。前年同月比でも+0.4ポイントの悪化。
- ・2カ月ぶりに悪化。円高や海外景気の停滞、電力不足などの問題が影響を及ぼしていると思われる。
- ・1月の全国の完全失業率（原数値）は4.5%、前月から+0.3ポイントの悪化。
- ・1月の全国の完全失業率（季節調整値）は4.6%、前月から+0.1ポイントの悪化。

※東日本大震災の影響により、全国の2011年3～8月分結果には岩手県、宮城県、福島県の結果は含まれていない。9月分から当該3県を含む結果となっているが、沿岸部を中心に、調査が再開されていない調査区もある。